



聖徳大学児童学研究所主催

第10回 子どもの発達シンポジウム

子どもの事故の 実態と防止策



国内外の取り組みについて

平成28年

日時

1月30日(土)

13:00~16:30

会場

聖徳大学10号館 14階

千葉県松戸市松戸1169

JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

主催

聖徳大学児童学研究所

後援

松戸市教育委員会、市川市教育委員会、
柏市教育委員会、取手市教育委員会

定員

80名

(事前申込不要)

参加費 無料

内容

子どもの事故に伴う不慮の事故死は、どの年齢においても死因の上位を占めています。我々は、文部科学省科学研究費助成事業の補助を受け、各分野における事故の実態を研究してきました。

今回は、子どもの事故による傷害予防、発達障害児の事故、自転車事故の予防策、事故にかかる医療費などについて発表いたします。さらに、日本及びカナダの子どもの事故防止の取り組みを紹介します。子どもが健康やかに成長するために、私たち大人ができることを一緒に考えてみましょう。

講演

ビッグデータと人工知能を活用した子どもの事故による傷害の予防 —現状の課題と将来展望—

西田 佳史

(独立行政法人産業技術総合研究所首席研究員)

発達障害児の事故 —その特徴—

細田 のぞみ

(社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園施設長)

コミュニティで取り組む科学的で効果的な事故予防

—長崎県大村市での自転車事故予防の実例—

出口 貴美子

(出口小児科院長)

北里病院救命救急センターに搬送される子どもの事故

—特にその医療費について—

昆 伸也

(北里大学医学部小児科助教)

研究の総括、カナダ、わが国の対応

松浦 信夫

(聖徳大学児童学研究所長)

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

